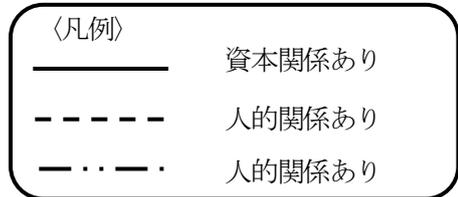
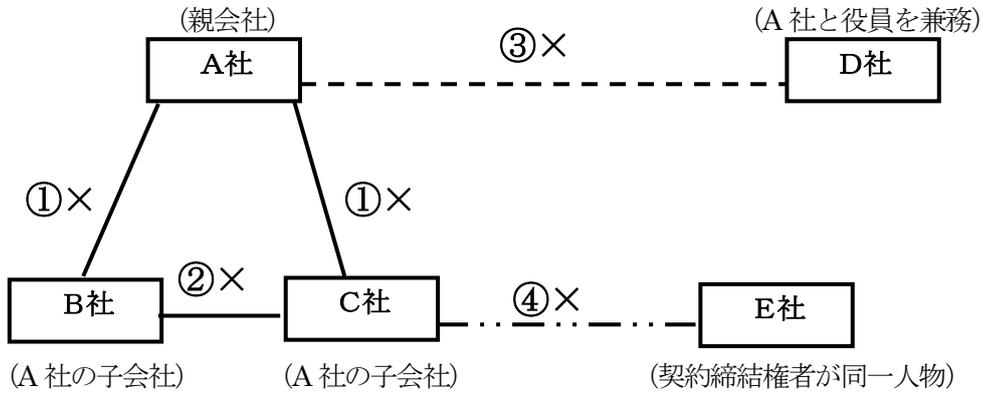


同一入札への参加が制限される資本関係・人的関係の事例について

【参考フロー図】

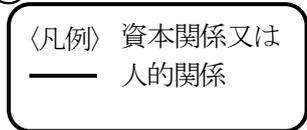
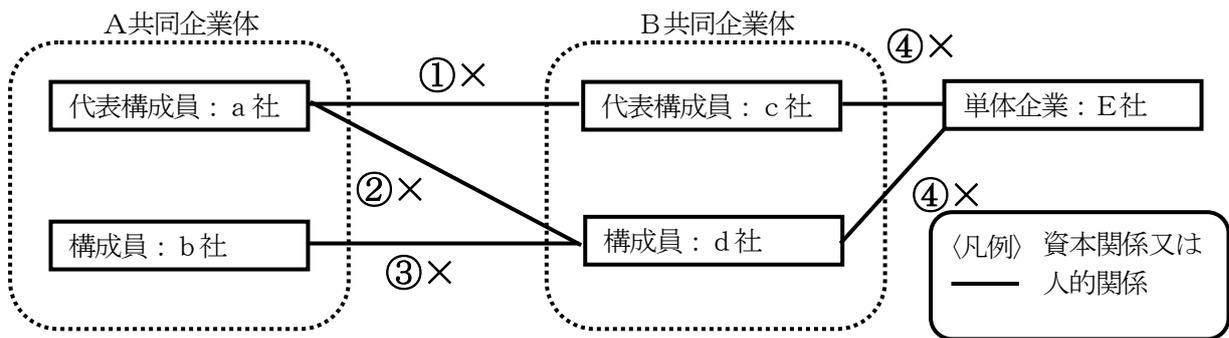
【単体企業等の取り扱い】



単体企業等の同一入札への参加が制限される事例

- ① A社とB社、A社とC社（親会社と子会社の関係のため）
- ② B社とC社（子会社同士の関係のため）
- ③ A社とD社（一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねているため）
- ④ C社とE社（一方の会社の契約締結権者が、他の会社の契約締結権者を現に兼ねているため）

【共同企業体（JV）等の取り扱い】



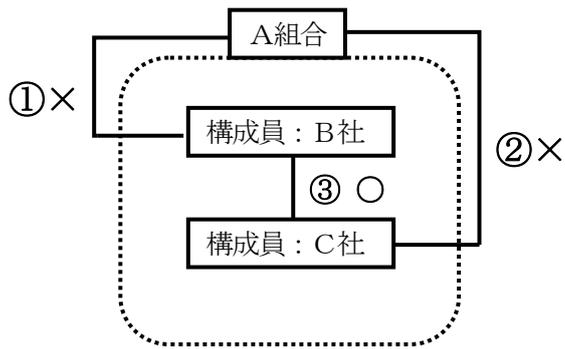
共同企業体同士の同一入札案件への参加が制限される事例

- ① a社とc社（一方の代表構成員と、他方の代表構成員が同族企業同士のため）
- ② a社とd社（一方の代表構成員と、他方の構成員が同族企業同士のため）
- ③ b社とd社（一方の構成員と、他方の構成員が同族企業同士のため）

共同企業体と単体企業の同一入札案件への参加が制限される事例

- ④ B共同企業体とE社（共同企業体の構成員と単体企業が同族企業同士のため）

【組合とその構成員の取り扱い】



組合とその構成員の同一入札案件への参加が制限される場合

- ①A組合とB社（組合とその構成員のため）
- ②A組合とC社（組合とその構成員のため）

構成員同士の同一入札案件への参加が制限されない場合

- ③B社とC社（A組合が同一入札に参加しない場合に限る）